

第2章 平成30年7月豪雨災害の概要

第1節 災害の概要

1 気象概況

7月5日から8日にかけての西日本を中心とした記録的な大雨の気象要因について気象庁が解析した結果、西日本を中心に長期間かつ広範囲で記録的な大雨をもたらした気象要因は、次の3つと考えられる。

- (A) 多量の水蒸気を含む2つの気流が西日本付近で持続的に合流
- (B) 梅雨前線の停滞・強化等による持続的な上昇流の形成
- (C) 局地的な線状降水帯の形成

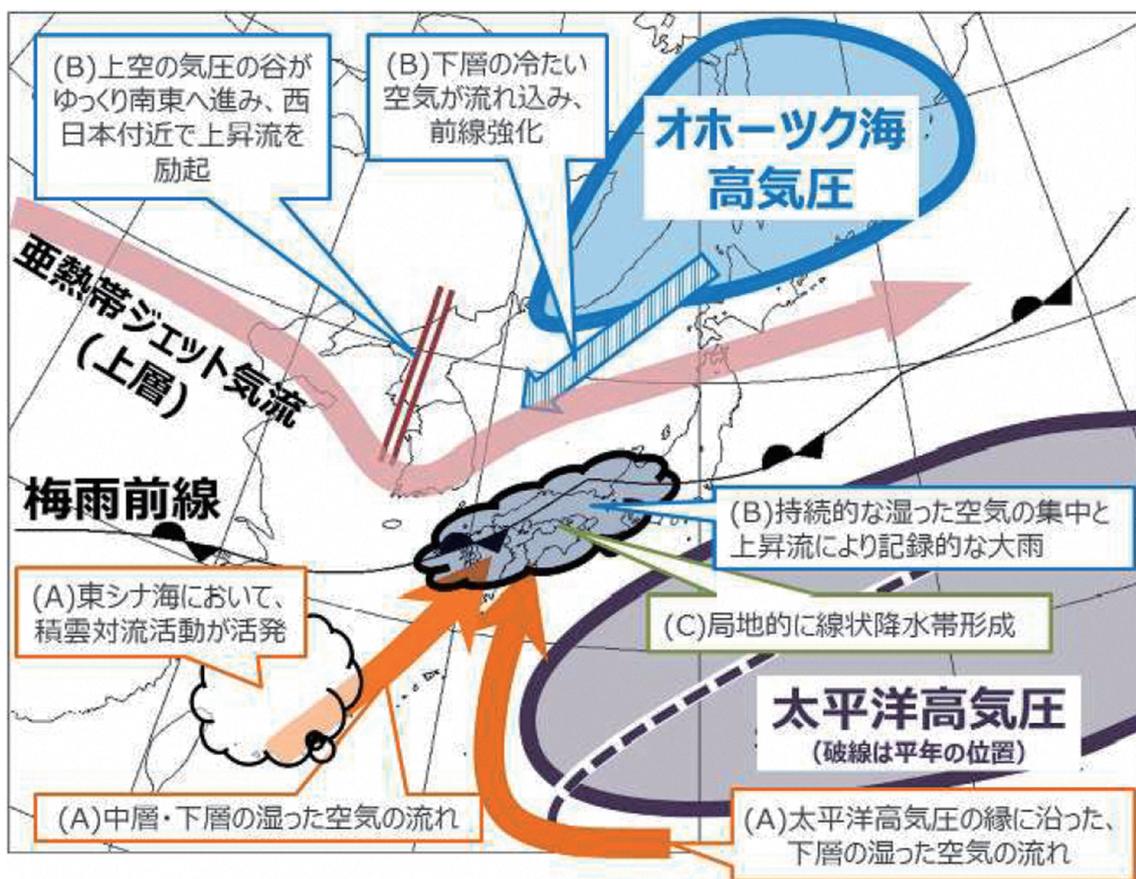


図 2.1 「平成30年7月豪雨」及び7月中旬以降の記録的な高温の特徴と要因

(出典：気象庁「平成30年7月豪雨」及び7月中旬以降の記録的な高温の特徴と要因について」より抜粋)

線状降水帯が発生していた地域では、激しい降水が持続し、周囲に比べて総降水量が多くなった。それらの中には、線状降水帯による降水量が総降水量の50%を超えるところ（東海地方、中国地方、四国地方、九州地方の一部）も存在した。

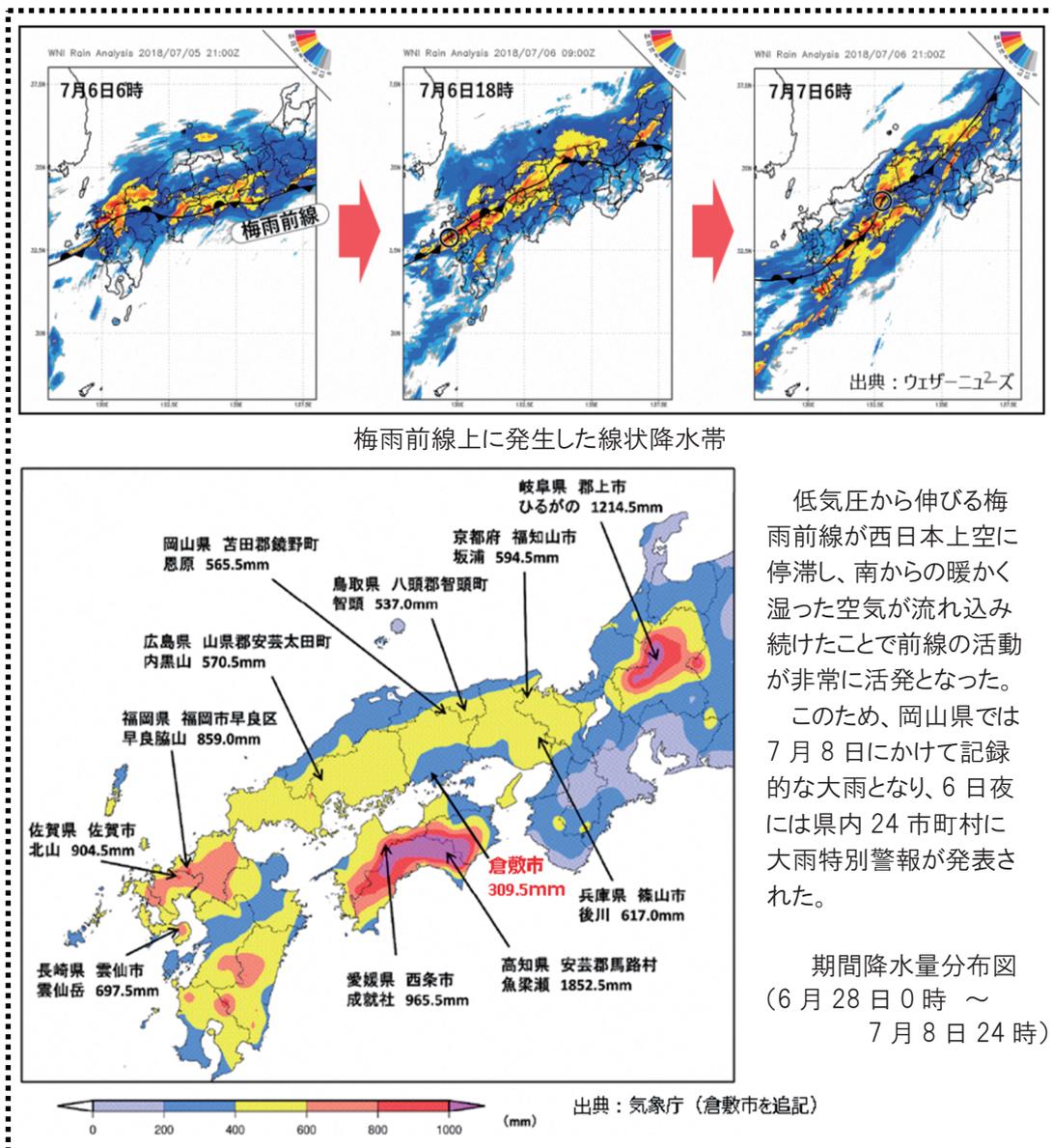


図 2.2 梅雨前線上に発生した線状降水帯及び期間降水量分布図

平成 30 年 6 月 28 日以降、華中から日本海を通過して北日本に停滞していた梅雨前線は、7 月 4 日にかけて北海道付近に北上した後、7 月 5 日に南下し、7 日にかけて本州付近に停滞した。この前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活発な活動が続いたため、中国地方では降り始めからの総雨量が 450mm を超え、岡山県では高梁川水系の新見市新見地点で 392.5mm、倉敷市倉敷地点で 260.0mm という観測史上 1 位の降水量（48 時間累加雨量）を記録する豪雨となった。7 月 6 日には中国地方で初めて 3 県同時に大雨特別警報が発表（広島県、岡山県、鳥取県）され、6 水系 13 河川 23 観測所で「氾濫危険水位」を超過、7 水系 9 河川 11 観測所で「避難判断水位」を超過、7 水系 7 河川 14 観測所で「氾濫注意水位」を超過した。このうち、5 水系 9 河川 13 観測所で観測史上最高水位を記録した。

この雨により土砂災害、浸水害、河川の氾濫などが発生し、岡山県倉敷市真備町において、高梁川水系小田川の堤防が決壊し大規模な浸水被害が発生するなど、各地で甚大な被害が発生した。

平成 30 年 7 月豪雨 ～中国地方整備局 災害対応の記録～

「第 1 章 気象等の概要」から抜粋

2 倉敷市における雨量

倉敷（アメダス）における観測では、7 月 5 日 19 時頃と 6 日 21 時頃に時間雨量 20mm を超える強い雨となった。

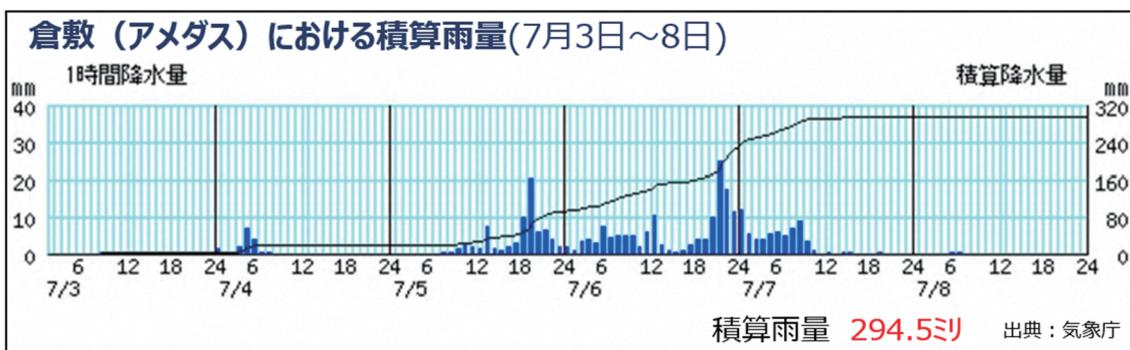


図 2.3 倉敷（アメダス）における積算雨量

倉敷（アメダス）の歴代降水量			
日降水量top3 (mm)			
	1位	2位	3位
倉敷	183.5 2011/9/3	138.5 2018/7/6	128 1990/9/19
日最大1時間降水量top3 (mm)			
	1位	2位	3位
倉敷	47 1990/7/29	38 1996/8/14	34 1998/9/25

今回の日最大降水量は、138.5mm(7月6日)で倉敷(アメダス)において、歴代2位の降水量となった。

今回の最大1時間降水量は、27.0mm(7月6日)で7月観測史上7位の降水量となった。

図 2.4 倉敷（アメダス）の歴代降水量（出典：気象庁HP）

3 河川堤防の決壊箇所及び浸水状況

7月6日から7日にかけて国管理河川の小田川の堤防2か所、県管理河川の末政川、高馬川、真谷川の堤防6か所が決壊した。堤防の決壊により真備地区全体面積の約3割にあたる約1,200haが浸水し、深さは約5mに及んだ。

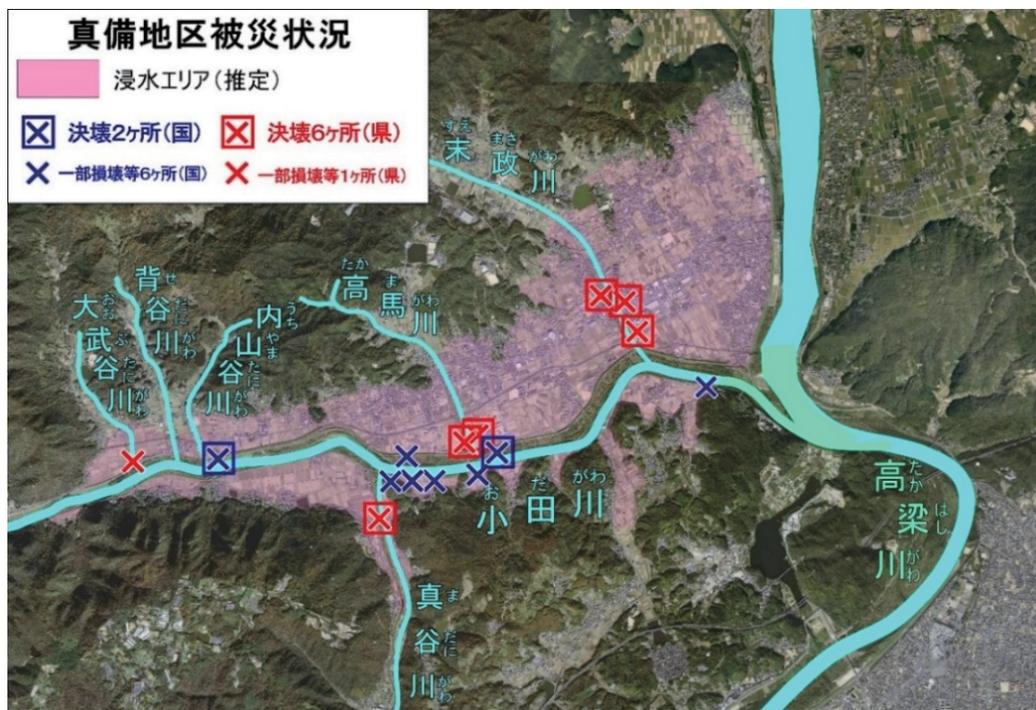


図 2.5 真備地区被災状況（出典：倉敷市「平成30年7月豪雨災害から復興への記録」）

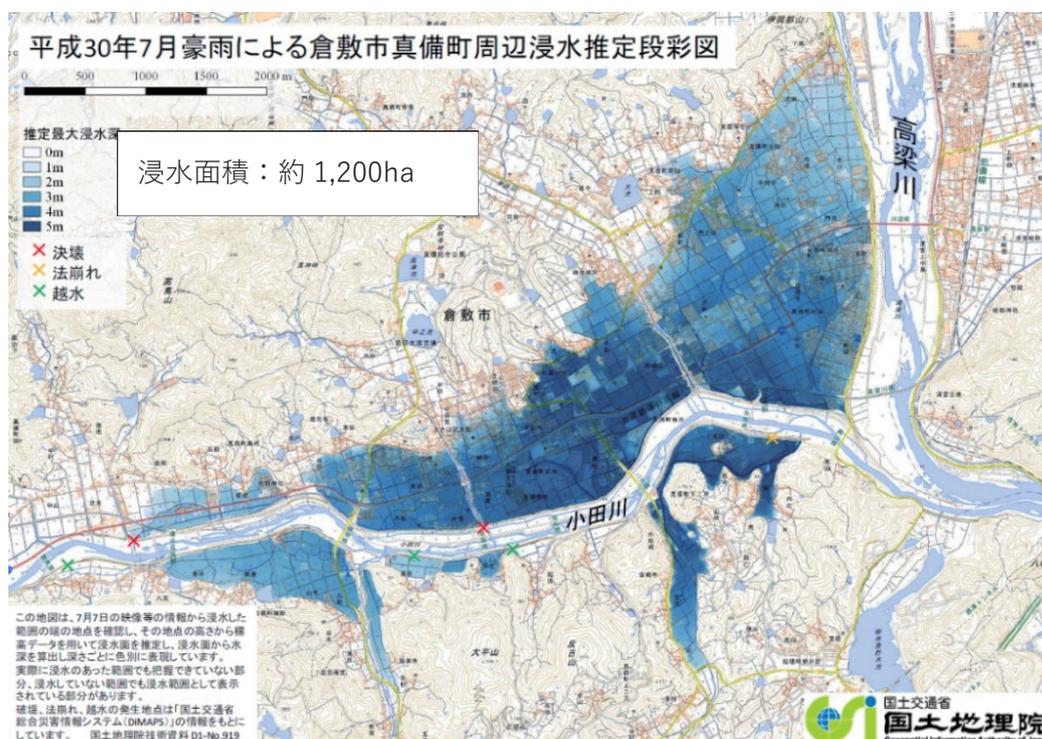


図 2.6 平成30年7月豪雨による倉敷市真備町周辺浸水推定段彩図
(出典：国土交通省)



高馬川決壊箇所



浸水時の様子



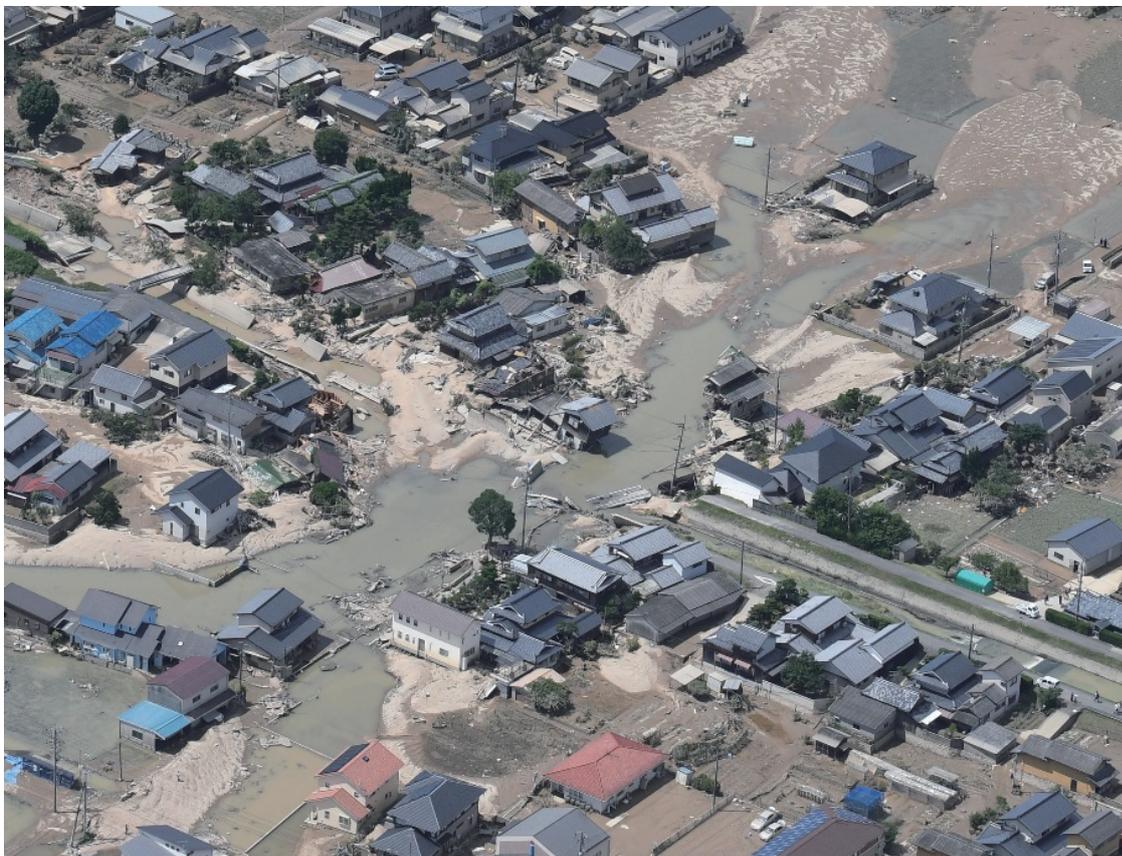
流されたトラック



水が引き始めた時の様子



末政川決壊箇所（写真：山陽新聞社提供）



末政川決壊箇所（右上写真の箇所を上空から撮影）（写真：山陽新聞社提供）

4 避難所の開設

7月6日11時30分に避難準備・高齢者等避難開始を発令し、市内30か所の避難所を開設した。その後も、避難情報の対象区域の拡大や避難勧告・避難指示（緊急）の発令に伴い、避難所を順次開設。その約5か月後、12月13日早朝にまきび荘の避難者が退所したことにより、全ての避難所を閉鎖した。

表 2.1 避難情報に伴い開設した指定避難所

日 時		開設避難所
7月 6日	11:30	倉敷：新田中学校、粒江幼稚園、葦高小学校、南中学校、天城小学校、多津美中学校、中庄小学校、菅生小学校 児島：下津井中学校、琴浦東小学校、琴浦西小学校、唐琴公民館、琴浦公民館、味野小学校、赤崎小学校、児島小学校、緑丘小学校、本荘公民館、郷内公民館 玉島：玉島黒崎公民館、玉島南小学校、上成小学校、乙島小学校、柏島小学校、玉島西中学校、 水島：連島東小学校 船穂：船穂小学校 真備：岡田小学校、菌小学校、二万小学校
	18:30	倉敷：県立天城高等学校（天城小学校は閉鎖）
7月 7日	0:00	倉敷：中洲小学校・万寿小学校・倉敷東小学校・東中学校・菅生小学校校舎の3階以上、イオンモール倉敷の立体駐車場
	4:00	水島：第一福田小学校・福田中学校・福田南中学校校舎の3階以上

（出典：「平成30年7月豪雨災害から復興への記録」）



段ボールベッドと間仕切りを設置した菌小学校
（7月20日）



岡田小学校（7月7日）

表 2.2 避難者数の推移（原則朝 7 時時点での集計）

7月			8月			9月			10月			11月			12月		
日	避難者	避難所	日	避難者	避難所	日	避難者	避難所	日	避難者	避難所	日	避難者	避難所	日	避難者	避難所
-	-	-	1	2,073	29	1	783	23	1	388	13	1	103	8	1	18	1
-	-	-	2	2,031	29	2	723	16	2	339	11	2	90	8	2	18	1
-	-	-	3	2,013	28	3	631	16	3	331	11	3	90	8	3	18	1
-	-	-	4	1,998	28	4	616	16	4	331	11	4	86	8	4	18	1
-	-	-	5	1,986	27	5	612	16	5	331	11	5	77	7	5	17	1
6	257	30	6	1,958	27	6	594	16	6	322	11	6	75	7	6	17	1
7	約 5,500	72	7	1,921	27	7	594	16	7	319	11	7	75	7	7	17	1
8	約 3,800	50	8	1,885	27	8	588	16	8	310	11	8	75	7	8	10	1
9	3,675	37	9	1,867	27	9	561	16	9	262	11	9	71	7	9	10	1
10	2,565	32	10	1,833	27	10	530	15	10	261	11	10	71	7	10	10	1
11	2,621	33	11	1,783	26	11	524	15	11	257	11	11	62	7	11	10	1
12	2,621	33	12	1,685	26	12	516	15	12	252	11	12	56	7	12	4	1
13	2,555	33	13	1,629	26	13	514	15	13	242	11	13	54	7	13	0	0
14	2,559	33	14	1,595	26	14	512	15	14	244	11	14	43	7		13日早朝 退所	
15	2,568	33	15	1,494	26	15	508	15	15	216	9	15	43	7	-	-	-
16	2,539	33	16	1,460	26	16	497	15	16	213	9	16	43	3	-	-	-
17	2,626	33	17	1,345	26	17	483	14	17	213	9	17	41	3	-	-	-
18	2,604	33	18	1,293	25	18	464	13	18	210	9	18	40	3	-	-	-
19	2,560	33	19	1,252	26	19	458	13	19	207	9	19	33	2	-	-	-
20	2,441	32	20	1,163	26	20	455	13	20	209	9	20	33	2	-	-	-
21	2,428	32	21	1,135	26	21	456	13	21	203	9	21	33	2	-	-	-
22	2,391	31	22	1,119	26	22	450	13	22	193	9	22	31	2	-	-	-
23	2,306	31	23	1,102	26	23	446	13	23	193	9	23	30	2	-	-	-
24	2,289	31	24	1,085	26	24	438	13	24	179	9	24	30	2	-	-	-
25	2,306	31	25	1,066	26	25	432	13	25	179	9	25	27	2	-	-	-
26	2,256	31	26	1,015	25	26	425	13	26	172	9	26	27	2	-	-	-
27	2,236	31	27	992	25	27	419	13	27	167	9	27	27	2	-	-	-
28	2,224	31	28	938	24	28	418	13	28	166	9	28	27	2	-	-	-
29	2,219	30	29	913	24	29	406	13	29	162	9	29	27	2	-	-	-
30	2,210	29	30	891	26	30	401	13	30	148	9	30	26	2	-	-	-
31	2,174	29	31	854	24	-	-	-	31	146	9	-	-	-	-	-	-

ア 7月6日は、21時（6日11時30分避難所開設）時点の集計。

イ 7月7日は、7日に開設されていた避難所の集計。

ウ 7月7・8日は、7時に直近の時刻の避難者数（推計値を含む）の集計。

エ 7月9日（8:00）、10日（12:00）、11日（18:00）、12日（6:00）、14日から17日（8:00）、18日（11:00）の時点の集計。

オ 7月7・8日の避難所数には、真備地区等からの避難者の移動や高梁川の越水に備えて開設したが、避難者が来なかった避難所を含む。

カ 避難者数が不明のものは、集計に加えていない。

キ 災害協定に基づく「福祉避難所」は含んでいない。

（出典：「平成30年7月豪雨災害から復興への記録」）

第2節 被害状況

平成30年7月5日から降り続いた雨は、「平成30年7月豪雨」と命名され、全国各地で甚大な被害が発生した。

この度の災害は、災害救助法が適用され、さらには特定非常災害及び激甚災害に指定された。

倉敷市では真備地区を中心に多くの方が被害に見舞われ、住まいだけでなく、73名（うち災害関連死21名）もの尊い命が失われた。



自衛隊による救助活動

1 人的被害

表 2.3 人的被害の状況（令和2年9月1日現在）

死亡者（うち災害関連死）	重症	軽傷
73人（21人）	9人	111人

（出典：「平成30年7月豪雨災害から復興への記録」）

2 住家等の被害

表 2.4 住家の被害状況（平成31年4月5日現在）

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	床上浸水	合計
4,646棟	452棟	394棟	369棟	116棟	5,977棟

（出典：「平成30年7月豪雨災害から復興への記録」）

表 2.5 市内の非住家被害状況（令和2年8月末現在）

床上浸水	床下浸水	その他被害
1,181棟	18棟	161件

（出典：「平成30年7月豪雨災害から復興への記録」）

表 2.6 被災農業者向け経営体育成支援事業による支援対象の交付決定状況

区分	被害件数
農業用倉庫（農機具格納庫）	150棟

（出典：「平成30年7月豪雨災害から復興への記録」）

3 ライフライン

表 2.7 ライフラインの被災状況

種別	被害状況等	対応
電 気	最大で 2,200 世帯が停電	7月12日 19時10分 仮送電完了
電 話	加入電話（フレッツ・ADSL／ISDN） 3,100 回線（80 回線）	8月3日 10:00 時点までに通信ビル水没に起因する固定電話等の障害が回復
	フレッツ光等（ひかり電話等） 2,900 回線（2,200 回線）	
	専用線等	
携 帯 電 話	大雨の影響による停電及び伝送路故障等のため、つながらない又はつながりにくい状況が発生	7月13日 15:30 までに大手3社の通信障害が回復
井 原 鉄 道	井原鉄道井原線の全区間で運行休止（7月6日時点）	7月10日 一部再開（三谷駅～神辺駅間） 7月18日～9月2日 代替輸送として、 総社駅～三谷駅区間で代替バスを運行 9月3日 全線開通
J R	JR在来線 7月5日以降、最大で全10路線が運行休止（岡山県内）。 ・山陽本線 ・瀬戸大橋線・宇野みなと線 ・伯備線	7月9日 笠岡～瀬戸再開 7月9日 全線再開 7月11日 総社～岡山間再開
路 線 バ ス	両備バス ・倉敷駅～青葉町～霞橋車庫線 7月7日 迂回運行のち、全便運行休止	7月8日 通常運行
	・倉敷循環線（倉敷駅～市役所・笹沖・堀南・成人病センター～倉敷駅） 7月7日 全便運行休止	7月8日 通常運行
	・新倉敷駅～玉島中央町線 7月7・8日 全便運行休止 7月9～12日 爪崎南～玉島中央町間迂回運行	7月13日 通常運行
	・中庄駅～コンベックス岡山～天満屋線 7月10～13日 中庄駅～下撫川間迂回運行	7月14日 通常運行
	下電バス 7月7日 一部路線で運行中止 天城線、塩生線、古城池線、瀬戸大橋線、下津井循環線、王子ヶ岳線、下津井線、中庄線、倉敷発空港行リムジンバス	7月8日 全線再開
	井笠バス 新倉敷～寄島線 運行休止	7月13日 再開
真備地区コミュニティタクシー	全線休止（7月7日時点）	8月1日 一部再開 （真備復興支援バスによる代走） 平成31年1月4日 全線で運行再開

参考資料：内閣府「非常災害対策本部 平成30年7月豪雨による被害状況等について」、
岡山県「平成30年7月豪雨災害検証報告書」、
中国電力倉敷営業所HP、NTT西日本HP、JR西日本HPをもとに作成